

幌中 風

幌延町立幌延中学校「学校だより」 第7号 令和7年9月24日 発行責任者：校長 佐藤 建

学校教育目標

～日本一温かな学校をめざして～
挑戦する生徒（自律）
やさしい生徒（尊重）
支え合う生徒（協働）

大切な命を守る！

1日防災学校 9/3

「防災」について考え、学ぶ一日。

3時間目は「ハザードマップで避難所までの距離を算出しよう」（数学）／「地震発生時にALTを安全に避難場所まで誘導しよう」（英語）／「震災の記事を読み、命を守る行動をまとめよう」（国語）…



など、様々な授業を関連づけて防災についての知識や考えを深めました。4時間目は地震を想定した避難訓練を実施。午後は幌延消防の方を講師に、地震の際の注意事項講習と応急処置や運搬法について教えていただきました。

ご協力ありがとうございました！



資源回収 FINAL 9/4

地域のみなさんに協力していただき、たくさんの古新聞や段ボールなどを回収することができました。今年は高橋建設様が集

積場までの運搬に協力してくださいました。幌中のことを思って下さる皆様のお気持ちに心より感謝いたします。

告知端末や学校便り等でお知らせした通り、生徒数の減少や安全確保の難しさ、保管場所や雨天時対応などの課題があり、今年度は資源回収を終了することとなりました。



今後も様々な場面で地域のみなさんに応援していただける幌延中であり続けたいと思います。よろしくお願ひいたします。

1年生街頭インタビュー 9/11



町民のみなさんの幌延町に対する思いや考えを調査するため、街頭インタビューをさせていただきました。仕事帰りのお忙しい中、たくさんの方が協力してくれました。中にはアンケート



実施のポスターを作成し掲示してくださった事業所もあり、町民の方の暖かさを感じる活動となりました。結果は総合的な学習の時間を使ってまとめ作業を行い学校祭で展示します。ぜひご覧下さい。

幌中合唱に助っ人！

学校祭に向けて、天塩高校の平田教諭が特別講師として合唱の指導をしてくれています。高校の授業や担任業務で多忙な中、「幌中生のために」と全3回来校され、発声



方法や音程の取り方、表現の方法などを各学年に合わせとても親切に指導していただいている。各学年の個性が光る合唱発表。お楽しみに！



幌延町PTA連合協議会研究大会が、10月25日(土)の10:00～11:30に、幌延小学校体育館にて開催されます。本町のスクールカウンセラーである三上久美子氏を講師に「思春期の子どもとどう向き合う？」と題し、講演を行います。右QRコードから参加申込を受け付けています。

ラストステージ！

吹奏楽部 定期演奏会 9/8

2人の3年生にとって最後のステージとなった定期演奏会。今年も町内のイベントで演奏する機会に恵まれ、多くの激励をいただきました。



その感謝を込めて全7曲を演奏しました。



演奏会終了後は引退セレモニーが行われました。優しく和やかな雰囲気でリーダーシップを發揮してくれた3年生に後輩たちからサプライズ演奏やメッセージが送されました。

弁論発表会 9/12



弁論発表会 9/12

「人権」「自分」「夢」「故郷」の4つの中から弁論のテーマ選び、自分の考えをまとめて発表しました。学校生活や友人関係などの身近な話題から少子化問題などの社会的な問題まで、幌中生一人一人の考えがよく表現されていました。保護者の皆さんもたくさん来校して下さいました。
※7/25に稚内市で行われた「少年の主張」



第11回全日本少年春季軟式野球北海道大会

9/13～15
遠軽町・溝別町



第11回全日本少年春季軟式野球北海道大会

稚内東・稚内南・豊富との合同チームで稚内地区予選を勝ち抜いた野球部（伊藤、金田、黒金）が全道大会に出場しました。初戦は網走代表と対戦し3-2で勝利。2回戦は留萌代表戦で降雨による悪条件の中、チーム一丸となって戦いましたが0-9で惜敗。来年度のさらなる活躍に期待したいと思います。



10月行事予定

- 1日（水）全校朝会／委員会活動
- 2日（木）QUテスト／生徒会執行局レク
英語暗唱大会（稚内）2年小田さん出場
- 3日（金）英語検定
- 4日（土）全道PTA研究大会（稚内）～5日
- 7日（火）後期生徒会役員選挙
- 8日（水）3年学力テスト（総合B）／職員会議
- 10日（金）1年生午前授業（9/16振替）
- 16日（木）2年生宿泊研修～17日
- 17日（金）1年生親子レク
- 20日（月）任命式・生徒総会
- 23日（木）第3回PTA役員会 19:00
- 24日（金）新入生体験入学
- 25日（土）幌延町PTA連合協議会研究大会（10:00幌小）
- 31日（金）管内教育研究大会（枝幸）…2時間授業



令和7年度 宗谷地区少年の主張大会 優良賞作品

故郷の魅力を高めるために

幌延中学校3年 小川結衣

「自分の生まれ育った故郷をもっと魅力ある街にしたい！」
みなさんは故郷に強い愛着を持つことがあるでしょうか。私は、大人になっても生まれ育った幌延町でたくさんの時間を過ごしたいです。しかし、道内でも最北にある宗谷、とりわけ、私が住む人口2千人ほどの幌延町は、いわゆる田舎と呼ばれるところ。このままでは、将来、私たちの故郷がなくなってしまう不安さえあります。そこで、中学生である私たちに何ができるのか、考えてみたいと思います。

まず、いまある幌延町の大きな魅力は、「自然が豊かなところ」、「人口が少ない分、人との関わりを作りやすいところ」、「他の町では見られない動植物が見られるところ」が挙げられます。しかし、それでは他の町との差別化が図れず、幌延町の魅力を十分に伝えられないのではないかと考えました。そこで私が考えたのは、「今ある観光資源を別の方法でアピールすること」「新しい町づくりに取り組むこと」、「人との関わり方の工夫」の3点です。

まず1つ目に、「今ある観光資源を別の方法でアピールすること」が大切なことだと考えました。たとえその観光資源が他の町と重なるものだとしても、幌延町だけの魅力を伝えていくことが必要です。例えば自然が豊かという点。ただそれだけでは他の町村と同じになってしまいます。そこで、「幌延町でしか見られない植物」や「全国的に見て希少価値の高い樹木」などを広くアピールすることで、様々な人に興味をもってもらえるのではないかと考えました。いま幌延町では、ブルーポピーという花を栽培しています。これは、ヒマラヤ山脈や中国などの標高3000M以上という限られた秘境でしか見ることができません。これを観光客自身の手によって植えてもらう。このような体験型の取組であれば、より興味をもってもらえるのではないかと思います。また、深い歴史と大規模な景観を持つサロベツ原野は、他の自治体と協力して大きくアピールすべきだとも感じました。遊ぶだけでなく、学ぶ・体験するという要素は、自然豊かな町を訪れる上では、大きなニーズがあると考えます。

次に、2つ目の「新しい町づくり」についてです。いま幌延町が主に観光資源として扱っているのは、トナカイ、鴨などの動物、ブルーポピーなどの花や自然、そして地酒などで、どちらかといえば年齢層が少し高めの方向けに偏っている印象です。そして、それをもとに町づくりをしています。そこで私は、次世代の視点に立った、どの世代にとっても魅力のある町づくりが必要だと考えます。

前々から私の周りでは、くつろげる場所があったらよいという声が出ていました。こうした施設の充実はもちろん、医療の充実、鉄道の問題など、解決すべき課題は多くあります。また、私たち小・中学生の中には「大型ショッピングセンターがほしい」という声もあります。土地はたくさんあるので叶わないことではないかもしれません、都市と同じ道を進むことは、それこそ田舎の良さが失われてしまうかもしれません。田舎だからこそできることを大切に、そこに住む人の声に耳を傾ける。若い私たちが「この町はこうありたい」という声をあげることが大切なのではないでしょうか。

最後に、「人との関わり方」についてです。生活する上で、地域の人にいつでも頼れると思うと、少し安心感が湧きますよね。ただし、そのつながりは自然にできるわけではありません。自分から話しかけたり、挨拶をしたりするなど、つながりを作る行動を起こしていれば、地域の方々と関係をもつことができます。これが田舎の良さでした。しかし、今はどうでしょう。人が話しかけたら「不審者かもしれない」と思われる、子どもも昔ほど自分から挨拶しなくなってしまいました。このまま何もできなければ、魅力ある町を作れないのです。きっかけは一人の行動かもしれません。そんな小さな積み重ねが魅力ある町につながる。私はそう信じています。だから私は、私たちは、小さな思いやりを行動に移すべきなのです。そして、個人の考えを尊重していくことにして、行ってみたい、暮らしてみたいと思う人も増えるのだと確信します。

「都会には都会の良いところがある」という意見にはとても共感できます。しかし私は、田舎にある、田舎ならではの良いところも、もっと伸ばしていきたいと感じています。これからも観光客の方が「行ってみたい」、そして何より、地元の人間が「また帰ってきてほしい」と思えるような町づくりについて考えていきたいです。それが、今私たちにできることだと信じて。

写真館 「学校祭にむけて」



【8/22 各部門の作戦会議】



【劇部門】



【装飾部門】



第79回 幌延中学校 学校祭 9月28日(日)

9:30 ステージ発表(装飾・総合・舞踊・ダンス・演劇)

12:00 学年合唱発表 12:20 全校合唱・閉会